

(株)モハラテクニカ

精密板金・レーザー加工・機械加工等

社員みんなで会社を変えよう!

高崎駅から車で約10分、通信やIT機器などで使われる部品や部材の製造加工を行っている(株)モハラテクニカを訪ねた。同社は超薄アルミ箔型抜き技術で群馬県から表彰されるなど、技術力の高さ、高品質な製品で業界から高く評価されているが、出迎えてくれた茂原純一社長(48歳)に案内された製造現場で、まず感激したのは各種機器を操作する社員の真剣な眼差しと礼儀正しさだった。

社員一人ひとりの意識改革を図り
新規事業成功への道を切り拓く

「同じものをひたすら作るプレスという仕事が受け身の仕事のように思えて、自分に合わなかったのです」

茂原社長は以前から考えていたことを父親に訴えた。「板金の仕事をして代目社長就任は平成10年)。

「自分で選んだ仕事ですから、残業も時間当たりの売上・利益はプレス業の倍近くになると確信したからである。会社の将来を熱く語る茂原社長に父親も納得。しかし板金の機械を導入しても、その操作ができる社員もいなければ、仕事が降ってくるわけでもない。自分で仕事を探し、自分で機械や設備を動かした。

性を見いだしたのだ。勝算もあった。レーザーカッターのマシンに向かっていた社員は、身体の向きを機械からこちらに向け帽子を脱いで挨拶、等々。とかく接客とは無縁になりがちな製造現場で、誰もが自然に礼を尽くす。しかしこれは一朝一夕にできたことではなかつた。「社員を変え、会社を変えよう」と決意した茂原社長が長年かけて社内に植え付け、浸透させたものである。意識改革はまず挨拶からと、講師を招き、数ヵ月かけて挨拶の重要さ、挨拶の仕方を全社員で学び、身につけました。今、みんなで挑戦して

「自分で選んだ仕事ですか、残業も時間当たりの売上・利益はプレス業の倍近くになると確信したからである。会社の将来を熱く語る茂原社長に父親も納得。しかし板金の機械を導入しても、その操作ができる社員もいなければ、仕事が降ってくるわけでもない。自分で仕事を探し、自分で機械や設備を動かした。

たのは、仕事は一人ではできない、そのためには「自分で考え、行動する社員」を育てなければならないということが、先述の意識改革はここから始まつたのだ。全社員にある程度根付くまでには10年近くを要したといふ。しかしこれをやりとげたからこそ、へという時代の流れに、板金業の将来みたい！」と。設備投資に数百万円をかけることになるが、重厚長大から軽薄短小、大量生産から多品種少量生産へといふ時代の流れに、板金業の将来



茂原純一社長の好きな言葉は「着々寸進」。その言葉どおり、「工場も段々手狭になってきたので、2年後には社屋も増築して、もっと会社を伸ばしていきたい」と常に上を目指す



中に工場があるとは思えないほど静かな併まいの社屋。ISO9001・ISO14001取得。平成14年群馬県1社1技術選定。同年群馬県IT推進モデル企業表彰



精密板金・精密加工で生まれる製品は、家電やIT等の部品・部材として私たちの身近なところで使われている



整理整頓が行き届いた工場内は、作業工程の順序、作業員の動線を考えたレイアウトになっている



工場1階に設置されているマシンセンター(上写真)とドイツ製の最新鋭レーザー加工機(右写真)。1階で切断や型抜きされた材料はエレベーターで2階に上げられ、反時計回りでバリ取り、タップ、折曲、溶接、洗浄等の工程を経て製品に生まれ変わる



非接触の二次元測定器で検査。
わずかな誤差も許されない

企業DATA

- 事業所名:(株)モハラテクニカ
- 所在地:〒370-0016 群馬県高崎市矢島町326-1
- TEL:027-352-1700
- FAX:027-353-0537
- 創業:昭和33年10月
- 代表者:茂原純一
- 従業員数:30名
- 事業内容:精密板金、レーザー加工、機械加工、プレス加工、等々
- URL:<http://www.moharatechnica.co.jp/>
- E-Mail:info@moharatechnica.co.jp

たのは、仕事は一人ではできない、そのためには「自分で考え、行動する社員」を育てなければならないということが、先述の意識改革はここから始まつたのだ。全社員にある程度根付くまでには10年近くを要したといふ。しかしこれをやりとげたからこそ、生産管理システムの導入を始め、各種ISOシリーズの取得がスムーズだったと言えよう。今では小ロットの試作品も積極的に手掛け、多くの企業から頼りにされる企業となつている。「後継者ですか? 息子が跡を継ぎたいくと思つてもらえる会社にしたいですね」と茂原社長。さらなる飛躍を目指す茂原社長の挑戦はまだまだ続く。